



町長日誌

No.248

町長日誌の第 248 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月17日（月曜日）AM9：15

5 月後半はオホーツク海低気圧が張り出し肌寒い毎日が続きましたが 6 月に入りやっと初夏の暑さが戻ってきたようです。町内では一番牧草のサイレージ作業で刻んだ牧草を運ぶ 11t ダンプがあちらこちらで走り回っています。収穫量もますますの様で安心していますが、少し天候が不順なのが気にかかります。5 月 27 日から本格操業が始まったホタテ漁も順調の様子です。このホタテ船の乗組員も今は海外からの技能実習生が多く、現在沙留元町に漁組で専用宿泊施設を建設しており町も支援をします。現在、町内には水産業・酪農関係が殆どですが 167 人が海外から働きに来られています。この 10 年で倍になりました。この様に町にとって欠かすことの出来なくなった技能実習生の制度は今年 14 日（金曜日）国会で新たに「育成就労制度」に改正されました。日本語や技能を習得することには変わりませんが雇用環境の改善、更には 1～2 年で転職も可能となるようです。具体的なことはこれから決まるのですが海外から選ばれる職場づくりが企業だけではなく町にも求められています。

5月10日（金曜日）

興部高校の授業参観に行ってきました。実は毎年一度は授業を参観しています。高校の授業は私たちの頃とは大きく様変わりしています。タブレットを使い生徒間で教え合ったり、先生と生徒の会話も多いように思います。2 年生は 7 名と少なく 1 年生の時は内気でしゃべるのが苦手な生徒が多かったのですが、今はしっかり答えている姿に成長を感じました。新 1 年生は 16 名です。生徒間の仲が良く積極的な授業態度が印象的でした。高校の先生方と町が運営する公営塾の講師 3 名が授業での連携も上手くできていて、生徒の放課後の学習や様々な活動を応援しています。

5 月中頃に町内公住にお住いの S さんから 2 通のお手紙を頂きました。

人口減少や冒頭に書いた海外からの雇用が無ければ立ちゆかない産業、老朽化する水道や公共施設などのことを踏まえ S さんは「紋別市と合併した方が良かったのではないかと、町長の考えを聴きたい？」とありましたので、この日誌でお答えします。平成 15 年、私が町長就任 1 年目の時、国が進める平成の大合併の時でしたが町民皆様との懇談会を経て「合併しない」選択をしました。しかし、あれから 21 年が経ち町の人口は約 1000 人減少しました。この状況は紋別市も同様で約 7000 人の人口が減少し 2 万人となっています。実は以前から興部・滝上など近隣町村は紋別市に働き場を持つ人が多く、港湾、水産加工、林産業、商工業において多くの雇用を必要とする街が紋別市です。しかし、その街の人口が 7000 人減ったと言うことは企業や働き場が減ったと言うことでもあり、興部町を離れる人には紋別の職場が無くなった方も少なくありません。市町村合併は役所の統合です。小さい町では役場が最大の雇用の場です。興部や西興部村から役場機能が縮小或いは無くなることは企業の撤退に等しく関連する商工業の衰退に拍車がかかることは合併した街を見れば判ることです。国は市町村に「地方交付税」を配ります。興部町では約 25 億円で町の収入の半分以上です。人口 1000 人の村でも十数億円の交付税が入るのです。国はこの交付額の削減をしたくて合併を町村に促しました。しかし、合併しても皆さんの住まいが変わるわけでもなく、病院やお店までの距離が近くなることは無いのです。確かに大きく便利なスーパーマーケットなどは紋別市にあり私たちも車で 30 分ぐらい平気で買い物に行く時代となりましたが、合併したら興部に大型スーパーができるわけではないのです。S さんお判りいただけたでしょうか？ 色々なお考えがあると思いますが私は町長として合併は必要ないと思っています。

6 月 2 日中学校、7 日興部小学校、8 日沙留小学校と 3 校の運動会が晴天に恵まれて終了しました。子供たちの頑張り、家族の応援など幸せな時間を一緒に過ごさせていただきました。皆さんお疲れさまでした。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131 です。

